

科目名	義肢装具学（作業療法）	担当教員	長南 行浩 郷 一紀 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------------	------	-----------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	3年次	後期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR32E	②					

科目概要	義肢装具学は、身体障害作業療法学において対象者の機能障害を補完するために重要な分野である。義肢装具学における知識・技術は、対象者の機能障害を改善・代償することで、活動制限を軽減し、参加を促進することができる。また、義肢装具の製作を行う義肢装具士との連携が強く求められる分野でもある。そこで本科目では、特に作業療法との関連の深い上肢装具を中心に講義を行い、義肢装具士や福祉との連携に対応できる知識を習得する。
学習目標	① 補装具の支給体系について理解する。 ② 装具の種類と適応について理解する。 ③ スプリントの製作工程について理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	ガイダンス 義肢装具学総論	用語の定義 補装具の種目・処方・支給体系	補装具の種目について理解する。 補装具の支給体系の優先順位を理解する。	
2	上肢装具(1)	上肢装具の種類と適応(1) 肩装具、上腕装具、肘装具 上肢の末梢神経損傷 手指の変形	装具の名称と適応について理解する。 実際の使用をイメージできる。 上肢の末梢神経損傷における麻痺筋と障害される運動について理解する。 手指の変形とその原因について理解する。	
3	上肢装具(2)	上肢装具の種類と適応(2) 手関節装具、手装具、指装具	装具の名称と適応について理解する。 実際の使用をイメージできる。	
4	義足の基礎知識 (1)	義足の種類と適応	義足の種類と適応について理解する。	
5	義足の基礎知識 (2)	義足のチェックアウト	義足のチェックアウトについて理解する。	
6	疾患別装具	片麻痺に対する装具 脊髄損傷に対する装具 関節リウマチに対する装具 小児装具	各疾患に使用される装具について理解する。	
7	スプリント製作 (1)	手の機能解剖 スプリント材 スプリント製作の工程と道具 トレース法	手のアーチ・基本的肢位について理解する。 スプリント材の特徴について理解する。 スプリント製作の工程について理解する。 多目的トレース法について理解する。	
8	スプリント製作 (2)	各スプリントの型紙 いろいろなスプリント 上肢装具・スプリントのチェックポイント	各スプリントの型紙について理解する。 スプリントの種類について理解する。 上肢装具・スプリントのチェックポイントについて理解する。	
評価方法		筆記試験(100%)		
課題に対するフィードバック		1 授業をとおしてフィードバックする。 2 講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。		
教科図書		日本整形外科学会・著『義肢装具のチェックポイント 第9版』医学書院、2021年		

<p>参考図書</p>	<p>日本作業療法士協会・監『作業療法学全書 改訂第3版 第9巻 作業療法技術学1 義肢装具学』協同医書出版社、2009年 やさききよし・著『手のスプリントのすべて 第4版』三輪書店、2015年 山口淳・監『写真でみる基本スプリントの作りかた（型紙見本付）』医歯薬出版、2007年 坪田貞子・編『動画で分かる！熱可塑性スプリント作製マニュアル 基礎から臨床応用まで』三輪書店、2012年</p>
<p>学習の準備</p>	<p>1（予習）指定した教科書の該当部分を事前に読んでおくこと（45分） 2（予習）筋の神経支配を理解しておくこと（45分） 3（復習）講義の理解できた箇所、理解が不十分である箇所を明確にし、不十分である箇所は次の講義で質問できるよう準備をする（90分）</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>講義の前後とする。</p>
<p>担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験</p>	